

このたびは、DPASS®をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品を正しく使用するために、はじめにこのセットアップガイドをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

お問い合わせ 1nf0@dpass.jp (1nf0:イチ、エヌ、エフ、ゼロですご注意ください。)  
DPASS(ディーパス)とは…  
Disaster ProActive Support Systemの頭文字をとった「災害対策支援システム」を意味する弊社の商標です。  
Copyright © 2009-2016 DreamWare Inc. All Rights Reserved. 01-700-130701

本製品は、緊急地震速報電文を受信し、設置点における到達震度と猶予時間を瞬時に演算し報知を行なうものです。緊急地震速報(予報)の技術的な特性や原理的限界を十分にご理解のうえご利用ください。

● 緊急地震速報(予報)の技術的な特性と原理的限界

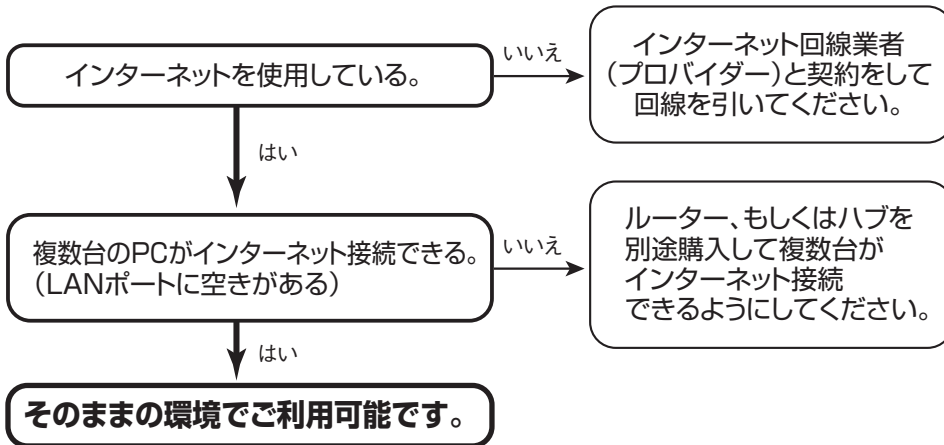
- ・ 震度、到達猶予時間などの予測演算数値には誤差が生じる場合があります。
- ・ 緊急地震速報の報知から大きな揺れが到達するまでの時間は、長くて数十秒から数十秒と極めて短い時間です。
- ・ 震源に近いところでは地震到達までに緊急地震速報が間に合わないことがあります。(直下型)
- ・ ごく短い時間のデータだけを使った情報であることから、予測された震度に誤差が生じる場合があります。
- ・ 震源の深さが150km以上深い場合は予測結果に大きな誤差が生じる場合があります。(深発地震)
- ・ 複数の地震が同時に発生した場合は震源の特定が困難となり予測結果に大きな誤差が生じる場合があります。(複数地震の同時発生)。
- ・ 落雷、事故、機器の故障等により、誤報が生じる場合があります。
- ・ 気象庁が実施する訓練報に関してはお客様自身が訓練の内容および配信日時等を確認の上で対応するものです。

● 緊急地震速報(予報)利用にあたってのご注意

- ・ 本製品は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の財産や命を守るものではありません。
- ・ 安定稼働させるために、定期点検を必ず実施してください。
- ・ 緊急地震速報(予報)を受信した際、報知に驚かず冷静に行動できるよう定期的な訓練をお勧めします。また、避難経路の確認など日頃から地震対策を十分行ってください。
- ・ 緊急地震速報(予報)の受信は、お客様御自身の責任でなされるものであり、弊社および販売元は、使用によって発生したいかなる損害(速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない)やその修理費用等に関して、一切の責任を負いません。

## 1. セットアップを行なう前に

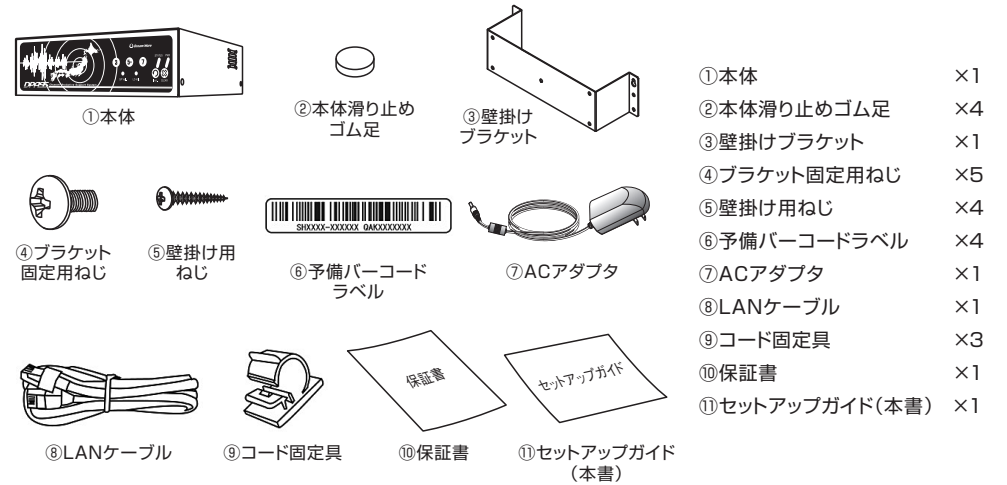
● 設置する環境をご確認ください



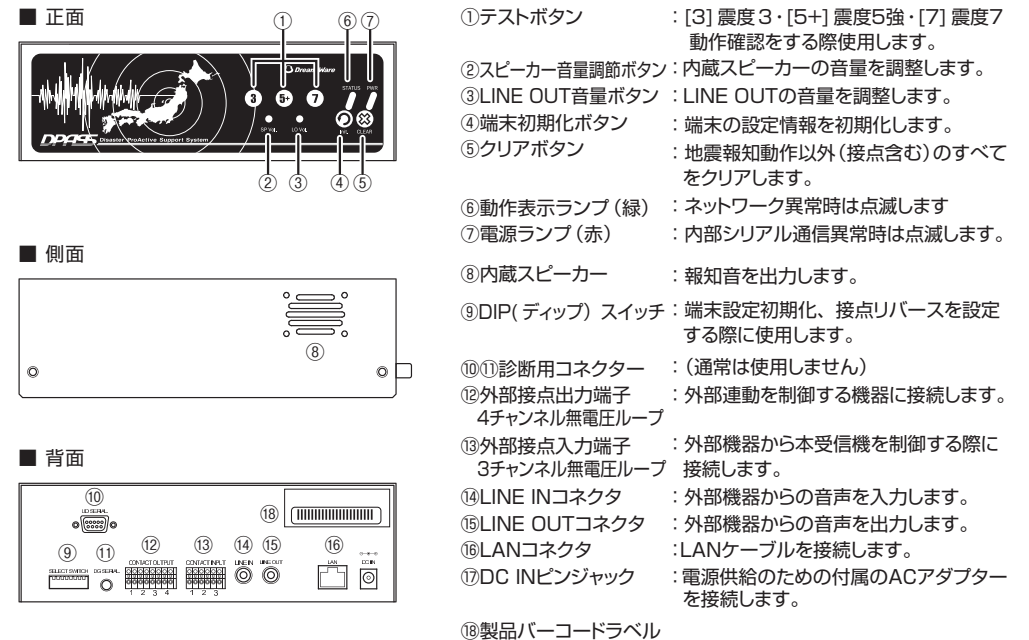
設置するネットワークには、以下の条件が必要になります。ファイヤーウォールを設定している場合はご注意ください。

1. インターネット常時接続環境
2. DHCPによるLAN-IP自動取得環境(固定IP環境でも使用できますが、別途本製品の設定が必要になります。)
3. LAN側からWAN側に対してTCP9001番・9003番ポートの開放
4. DNSが利用できる環境

## 2. パッケージ内容の確認



## 3. 各部の名称と役割



## 4. 設置

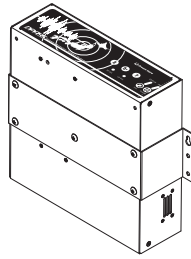
付属の滑り止めゴム足、もしくは壁掛けブラケットを使い設置してください。

### ● 滑り止めゴム足を利用

1. 本体の下部4ヶ所に滑り止め用のゴム足を付け、設置する場所へ置きます。

### ● 壁掛けブラケットを利用

1. 付属のブラケット固定用ねじで本体にブラケットを固定します。
2. 任意の場所に、付属品の壁掛け用ねじでブラケットを固定します。



## 5. 接続

### 1. 接続準備

本体を接続するネットワーク環境で、インターネットが使えるかを確認します。

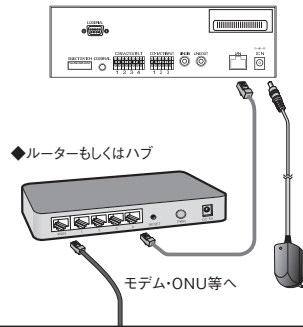
### 2. LANケーブルの接続

- ① ルーター、もしくはハブの空きポートに付属のLANケーブルを接続します。
  - ② 本体のLANコネクタに付属のLANケーブルを接続します。
- ※必ず、LAN接続の上「3.ACアダプタ接続」を行ってください。

### 3. ACアダプタの接続

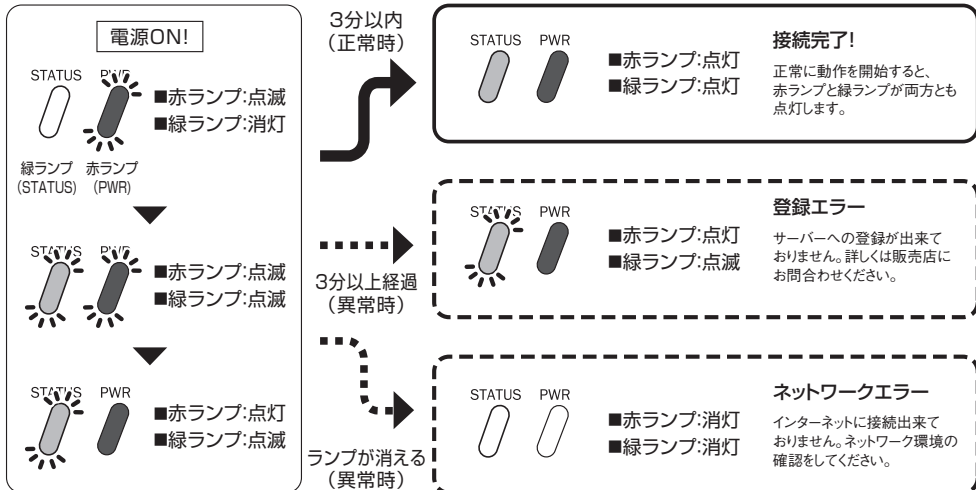
- ① 本体の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続します。
- ② 付属のACアダプタをコンセントに接続します。

※外部連動機器(放送アンブ)に接続する場合は別途ケーブルの購入が必要です。



## 6. 初回動作確認

電源投入後、ランプの点灯をご確認ください。 ● 緑ランプ: STATUSランプ ● 赤ランプ: PWRランプ ○ 消灯状態



## 7. 機器の動作と操作方法

※ 接続完了後、必要に応じて各種設定を行なってください。

ランプの状態と動作 ● 緑ランプ:STATUSランプ ● 赤ランプ:PWRランプ ○ 消灯状態

作動の区分	ランプの状態	機器の状態	
起動中①		赤ランプ:点滅	機器の起動状況を確認しています。
		緑ランプ:消灯	準備中です。
起動中②		赤ランプ:点滅	機器の起動状況を確認しています。
		緑ランプ:点滅	ネットワークの状況を確認しています。
起動中③		赤ランプ:点灯	機器は正常に作動しています。
		緑ランプ:点滅	ネットワークの状況を確認しています。
正常作動中		赤ランプ:点灯	機器は正常に作動しています。
		緑ランプ:点滅	ネットワークは正常に作動しています。
ネットワークエラー		赤ランプ:点灯	機器は正常に作動しています。
		緑ランプ:点滅 (1秒間に2回点滅)	ネットワークに異常が起きています。…※①
		赤ランプ:点灯	機器は正常に作動しています。
		緑ランプ:点滅 (1秒間に3回点滅)	配信サーバーに接続できません。…※② <u>販売店へご連絡ください。</u>
緊急地震速報報知中		赤ランプ:点灯	機器は正常に作動しています。
		緑ランプ:点滅 (1秒間に5回点滅)	受信した緊急地震速報を報知しています。

●電源投入後、ネットワークエラーがない限り約3分以内に「起動中①～③」から「正常作動中」になります。

※①お客様のルーターやLANケーブル等のネットワーク機器の接続状態及び設定内容をご確認ください。

※②ご契約や登録手続き後すぐにこの表示が出た場合、お客様の端末登録手続きが完了していない可能性がございます。お手数ですが2～3日後に再度接続してください。それ以外の場合は恐れ入りますがご購入された販売店へご連絡ください。

ボタンと操作方法 ボタンの機能と操作方法を以下でご確認ください。

### ■TEST ボタン



- 震度3テストボタン ……約3秒間長押しすると「震度3」の報知動作を行います。
  - 震度5強テストボタン…約3秒間長押しすると「震度5強」の報知動作を行います。
  - 震度7テストボタン…約3秒間長押しすると「震度7」の報知動作を行います。
- ※TEST ボタン報知中地震速報が来た場合は地震速報を優先に報知動作を切り替えます。  
※TEST ボタン報知途中、CLEAR ボタンを長押しすると音声及び接点出力は停止されます。



- 端末初期化ボタン ……配信サーバーに登録されている端末の情報を初期化します。  
※端末が再起動するため、緊急地震速報の受信が1～2分ほど停止されます。操作にはご注意ください。
- クリアボタン ……緊急地震速報報知動作以外の動作を解除します。  
(接点出力・動作確認テスト・津波情報)

## 8. 主な仕様

- ・ 名称: DPASS緊急地震速報専用受信端末
- ・ 消費電力: 待受 1.0W、最大 1.2W
- ・ 型番: SH500-J
- ・ 動作環境: 温度 0～40℃ / 湿度 10～80% (結露なきこと)
- ・ 外形寸法: 220(W) × 69.2(H) × 220(D) mm (突起部除く)
- ・ 外部入出力: DI × 3、DO × 4、LINE OUT × 1、LINE IN × 1
- ・ 定格入力: DC12V 800mA